

新刊

多賀工業会千葉県支部会報

第 11 号

中国の古都・西安からの便り



“きかなきや損する税金のはなし”

[P16・詳細記術 家族・友人・知人の聴講歓迎]

『同窓会とは』と言うと多くの方々は、何を今更と思われる事でしょうが、私が皆様の御協力に支えられて、微力ながら今日まで六年間を過ごして参りまして感じました事、また今後なされるべき事について、私見を述べさせて戴きたいと筆をとりました。

御承知の様に多賀工業会は全国に14支部があり、会員も13,000余名を数える、組織体となって居ります。然しながら、各支部の共通の問題として“年会費の徴収”・

“総会への出席数の低下”に關心しているのが現状の様です。

因に当支部についての実状を申し上げますと、年会費の納入はトップであります。総会への出席は低迷して居ります。

会報と共に総会への出欠・催事の案内及び年会費の振込用紙を同封して、お送りして居りますが発送数950通以上に対して返信数250通前後で年会費は年間270名位の状況です。つまり700通前後の分は無駄だとは申し上げませんが、ダイレクトメール扱いとは残念に思われます。結局年会費を納入して戴いた方に負担を願っているわけです。

ここで、問題を提起致したいのは、卒業生則同窓会員というのではなく、卒業生と同窓会員とは切り離して考えても宜しいのではないかと言うこと、即ち卒業生には同窓会への入会は“選択の自由”を認めては、と言う事であります。

一方本部でも、支部への助成金・会報の発送等の支出増に頭を悩めて居る様です。

この面から考えて見ても支部の運営は支部独自で進めてゆくべきが本当の姿だと思われま。同窓会の活生化を計るために、この“たわごと”には是非皆様のご意見・ご提言を下される様お願いする次第です。

事業報告 平成5年度（平成5・3・1－平成H6・2・28）

1 千葉県支部関連

- ① 平成5年度幹事会開催 平成5年4月9日 於 大黒屋 出席者 1幹事10名
議題 平成4年度事業報告・決算 5年度事業計画・予算並びに第20回総会の関連事項
- ② 第20回支部総会開催 日時 平成5年6月26日（土）
場所 千葉ペリエ 出席者数 35名 テレホンカード贈呈 I love 千葉
講演 沼田知事 講演内容 千葉県政の方針並びに県下産業の全国的位置と将来像。
- ③ 第5回ゴルフコンペ開催 平成5年10月6日 船橋カントリー 出席者12名
- ④ 会報関連 会報9号・10号編集・発行 9号921通 10号879通 発送
- ⑤ 第3回 工場見学〔日本建鐵（株）船橋工場〕 忘年会 場所 稲荷屋

2 本部関連

- ① 多賀工業会総会並びに理事会 日時 平成5年6月12日（土）
場所 日立マーブルホール 出席者 原田名誉会員 山田支部長 三幣幹事長
- ② 他支部との関連 総会出席（東京・水戸勝田・埼玉・いわき）

参考 平成6年度 新卒業者氏名（略 敬称 27名）

機械工学科 古賀隆司 高宮智昭 宮原宏史 宮澤幸夫 小山真二郎
電気工学科 植木義治 情報工学科 斎藤修平 星 誠可 佐々木哲也
金属工学科 岩崎直樹 小林修二 四野宮隆 濱尾尚範 三宅 淳
工業工学科 太田律子 小島 恵 藤本有加 牟田 茂 横橋 剛
精密工学科 飯田真之 北平史則 寺西 明 平野勝彦 湊 基嗣
電子工学科 青砥邦彦 建設工学科 鈴木達也 和田裕之

3 平成5年度決算報告

収入の部			支出の部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	112,185		総会費	443,188	
本部助成金	150,000	通常分	交流費	62,000	
総会費	240,000		通信連絡費	244,252	
年会費	488,000	2,000×244	会議費	78,500	
広告費	75,000	5,000×16	会報制作費	206,420	
祝金	62,000	輝輝輝	雑費・予備費	67,044	22式無線機 テレホンカード 観音機
雑収入	1,340	輝輝輝	小計	1,101,404	
	55,639	輝輝輝	剰余金	82,760	
合計	1,184,164		合計	1,184,164	

別途積立金 400,000万円 [定額郵便貯金]

平成5年2月28日 監査の結果誤りないと認めます。

監事 大久保勝躬 監事 稲葉信彦

4 平成6年度事業計画案

- ① 幹事会開催 ② 会報第11号・12号 編集・発行
 ③ 第21回総会開催 日時 平成6年7月24日 11時～15時 フローラ西船
 ④ 他支部総会出席 ⑤ ゴルフ・コンペ 工場見学 忘年会

5 平成6年度予算案

収 入 の 部			支 出 の 部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	82,760		総会費	350,000	
本部助成金	150,000		交流費	70,000	
総会費	280,000	8,000×35%	通信連絡費	300,000	郵送料植上
年会費	500,000	2,000×250	会議費	70,000	
広告費	60,000	5,000×12	会報制作費	250,000	
雑収入	43,000	利子其の他	雑費・予備費	75,760	
合 計	1,115,760		合 計	1,115,760	

別途積立金 400,000万円 [定額郵便貯金]

平成5年度年会費納入者氏名(略敬称 以下51名・累計244名)

- 16 杉本喜久雄 18 菊池正敏 19 野島貞夫 20 小山英一 隈本孝之
22 井川滋郎 23 関根 要 鈴木利久 24 三品吉弘 30 中板昭男
25 塚越要夫 大塚恒男 山田秀男 29 北村 健 大津勝男 35 大住 惇
34 芝山佑芳 皆川孝之 36 小室哲夫 37 藤井弘道 石川隆久
39 浜井 宥 近藤曠史 41 渡辺 穂 42 服部研治 浜野紘一
44 三友明夫 45 中台重樹 46 松本 茂 沼倉研史 兼巻良勝
47 小出喜右衛門 48 浅野哲夫 53 曾根 勉 59 狩野 宏 新谷純一
62 有賀健司 中村昌巳 63 宮台進二 H1 桑原弘明 原 啓介 秋葉泰男
H2 庄司雅利 石井伸直 成島和男 H3 河野偉知郎 H4 坪井信行
H5 山崎寛介 鈴木康文 伊藤 実 旧職員 三好洋子

壮大なロマン『五族協和』・『王道楽土』を掲げて誕生した満州国は、日本の敗戦と共に十三年で消え去ったが、その満州の鉄の都‘鞍山(アハムイ)’で生まれた私は、父の転勤につれて‘鉄嶺’‘大連’‘安東’と移り住んだ。大東亞戦争期の昭和十九年五月‘安東’を去る迄の十六年間満州で暮らし、物心ついてから中学一年一学期迄の十年間は‘大連’で育った。当時大連には日本の小学校が二十一校あった。私の通った学校は聖徳尋常高等小学校と言い女子の二年制高等小学校が併設されていた。

平成四年九月、今は異国にある母校の創立六十五周年記念大会を、ザ・ホテルヨコハマで行い一回生から最後の卒業生十七回生、それに敗戦時の在校生迄二百五十名が集まった。その前年同窓会主催の母校訪問ツアーが企画され三十名が参加した。昭和十六年の夏大連を離れた私にとっては丁度半世紀振りの母校である。七月の始め、成田を発って数時間、昔、遠足で訪れた‘大連周水子空港’に着く。思い出を確かめ乍ら空港ビルを出た途端、思いがけない光景に驚き足を止める。カラフルな服装の児童凡そ百五十人が手に手に花束を振って熱烈歓迎の大合唱、聞けば今は東北路小学校という旧聖徳小学校の生徒が、校長先生引率の下での歓迎という。半ばの不安を抱き乍ら、五十年振りの大連の第一歩にこの衝撃、このような晴れがましさを夢想だにしなかった我々は、始めは当惑し、おずおずとはにかみ、段々にこやかに手を振って応えそして熱く感動し涙をこらえるように歓迎の波を潜るのだった。翌日の母校での同窓会には大連を始め遠く北京からも中国人同窓生が集まり、総勢五十人が、ブラスバンドを加えた昨日に優る歓迎の列に迎えられた。校長先生の歓迎の言葉、同窓会の謝辞と記念品贈呈の後、在校生の器楽演奏、舞踊、合唱でもてなされた。校長先生の厚意により曾ての吾が学び舎を隅から隅迄気儘に見学した。

追憶の中に追い求め夢にも現れた母校、今心行く迄走り回り撮りまくる。咽喉の渇きが、潤おされるように、心が和み満ち足りる思いだった。

昭和二十年八月、ソ連の参戦、敗戦と続き大連からも敗戦国の民族が追われるように引き揚げた。

俗に言う先輩、後輩ではない、日本から中国に譲り渡した訳ではない。

日本が力で作ったものを中国が力で奪い取った学校である。にも拘らず昔の雰囲気を引き継がれ、今日の歓迎に至る。説明のできない一体感である。

昭和十年から十六年の六年間、吾がまなびやは、人生の始まりを規律正しく、伸び伸びと導いてくれた。そして新たに、半世紀振りに訪れた大連東北路小学校の心暖まる歓迎は、大切に抱いてきた母校への誇り、母校への愛惜の念を、些かも傷つけることなく改めて鮮明にしてくれた。

因に、聖徳小学校の校訓は『神を敬え』・『人を愛せよ』・『黙って働け』である。

エジプト紀行

佐藤 義昌 19電気

私が定年で会社を辞めます3年程前から、辞めてからの人生を有意義に有効に活用しようと考えました。私は旧制中学時代に歴史が好きな学科の一つであった事を思い出し先ず奈良・天平時代を2年程やりましたが、これを止め世界史をやる事と致しました。

世界史と申しましても広うございますので、西暦紀元前後からそれ以前に限定致しましたそしてシルクロードから入り各国の古代史を遍歴しエジプト古代史に到着した次第です。

その間約5年の年月を経過して居ります。エジプト古代史の中で特にギザにございますクフ王の大ピラミッドの寸法、その正確さに魅せられたわけであります。建設されたのはBC2550年頃です。その寸法はイギリスのフリンダース・ビートリーがAC1880年12月から翌年の5月頃迄約6ヶ月かけ計測した数値が現在公認されて居ります。

(注 ギザ一帯が磁場や地盤の変動を無視してよい地域である事から 経年変化による、再計測の必要性は全くない地域であります) 然し1925年にエジプト考古局測量庁で計測し確認して居ります。またごく最近ですが、AC1977年に早稲田大学の渡辺保忠教授が計測して居られます。この寸法についてお話しますと、

I フリンダース・ビートリーと渡辺教授の計測値

A 高さ 146,7m (現在137,26m) B 階段 210段 (現在203段)

C 総体積 2,594,914m³

D 地理的位置 北緯29°58'51" 東経31°09'

E 積まれた石材の数(推定) 約268万個 約230万個(渡辺教授)

F 入口の位置 地上17m [北面の中心線より7,3m東へ偏向(渡辺教授)]

G 傾斜角 $\alpha = 51^\circ 52'$

H 一段目の水平誤差 最大高低差36mm [東南と北西コーナーの差20mm]

I 基底の角度 東北角 90°03'02" 北西角 89°59'58"

南東角 89°56'27" 南西角 90°00'33"

J 基底の長さ 北辺 230,25m 東辺 230,39m

南辺 230,45m 西辺 230,35m

K 各辺の基底 北辺 2'28" [西よりの南偏] 東辺 5'30" [北よりの西偏]

の偏向 南辺 1'57" [西よりの南偏] 西辺 2'30" [北よりの西偏]

高山 和夫 22 横城

茂木港 海の幸あり活魚の店

活海老躍り 鯛は姿作り

山藤の投じし宿か天草洋

望み肴の 活魚躍る

鶯の啼く声細し 庭つばき

訪ね来し花 雪に埋れて

二十三センチ 音無く積りし大雪に

車は止りて 街は静けし

白銀に葦雁な滑り 見終りぬ

四年後 五輪 長野なるとぞ

すぎ まこと

暗やみに静けさ たもつ街はずれ

高炉の火のみ 赫々ともゆ

打ちおろす槌の響きのつよくして

龍骨のむこう月かけぞさゆ

続・老いの指

山田 笑子

走り梅雨 車内広告奇をてらい

泣きじゃくる児の腕走る蟻赤し

蓮摘む 老婦の立ち居軽やかに

病む膝をかばう飯寝や 桜桃忌

捨て舟のもやいし先の花菖蒲

句会後の買物籠に鮎入れて

噴水に思いあぐねて 指濡らす

水盤に葉組み考え 花菖蒲

甘糧の丘

すぎ まこと

首塚や 刈り田の畔に供華も廻れ

野晒しの首塚たたく 寒の微雨

哀歎を秘めし首塚 冬の黙

冬ざれや ひとなおむなし 首の塚

矢豆 歌

俳 句

俳句

夢二 通歴

塚越 としを

春の鯉 ばざりと面布を躍らして

助六太鼓 ばち抛り合う梅の花

連翹や 亀石に亀甲羅干し

ライラック ふうふう宙の流れをり

梨の花 間近にパイル打ち込まる

竹の秋 透きて鳥語のこぼれけり

残花かな 雌鹿の黒き眼の濡れて

液晶の記憶儚し 暮れの春

浅倉彫塑館

「吊るされた猫」の彫像 春の風



弥生美術館

のらくろの軍靴こつこつ 桐の花

竹下夢二美術館二句

面影の茫と審怒重なれり

亀鳴くや 女通歴許したろ

袍衣塚に倒れ込んでる 墨染坊主

水亭の卵の花ゆらす 鯉の髭

武者隠し奥の座敷の夏椿

格子戸に残る結界 かたつむり

解体車の高逆さ積み きりん草

金柑や 音信絶えて久しかり

錆蝕の腹の赤さに触れてみし

湯涌温泉

山の湯に夢二追ひ来し ほととぎす

全国仲人連合会 船橋センター 支部長 原田 正夫 16精密
幸をつかもう! ☎・FAX 0474-32-1615 鎌倉海神5-21-12

国土開発工業(株) 羽鳥忠男 17原動
☎・0474-22-7036 〒273 船橋市宮本1-3-6

地曳税務会計事務所 税理士 地曳 一夫 17金属
☎・0473-61-3310 〒271 松戸市二十世紀が丘荻町50

世界に耀くプレス (株) 仙電工業 技術顧問 山田 泰雄 19機械
☎・0474-85-0078 〒276 八千代市八千代台西3-2-23

祈りによる世界平和を 嶋田製作所 嶋田 清 20金属
☎・0473-25-2535 〒272 市川市平田1-17-8

大川音楽事務所 大川栄一 23機械
☎・043-261-2771 〒260 千葉市寒川町3-198

大久保税務会計事務所 税理士 大久保勝躬
☎・0473-36-1662 〒272 市川市北方2-8-21

インテリア・イチキ 一木 忠 23金属
☎・0473-43-0827 〒270 松戸市幸田32-1

日本空調工業(株)代表取締役社長 飛田 良雄 26電機

☎・0473-87-4606 〒270 松戸市常盤平西窪町7-8

×

岡安産業株式会社 代表取締役社長 岡安 孝捷 26金属

☎・0473-73-5894 〒272 市川市宮久保2-17-6

○

株式会社新日軽 顧問 税所 裕 28金属

☎・0474-83-0605 〒276 八千代市八千代台南2-15-2

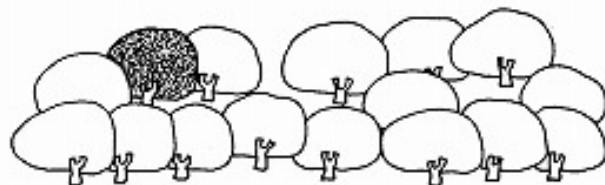
○

株式会社高屋 顧問 三幣正人 24機械

☎・0473-24-1067 〒272 市川市菅野3-5-11

○

かって、友の憂いも、わがことのように悩み、友の喜びも、わがことのように喜んだ。
友達の仕事です。会員の会社です。(自宅の電話番号です) 編集者



編集後記

1 ライフ・スタイルの多様化から価値観は転換している。卒業生の『同窓会』への対応も例外じゃなく変化している。それが顕著に本部の会費納入率低下にみることができ。だから基本的な『同窓会』運営のローリングが緊急の課題になっている。

- ① 卒業生の『同窓会』への意識の分析。② 会費納入率向上。③ 収支の健全化。
- ④ 『同窓会』活動の活性化の模索。などが検討されている。

翻って、千葉県支部の納入状態を時系列で見ると、平成元年288名・平成二年256名・平成三年270名・平成四年277名・平成五年244名。また5年間に一回以上納入した者は469名である。

本部・支部の状況を背景として、支部の“会則一回目のお色直し”も考慮中です。

会の運営が会則と離れているんじゃないか気持ち悪いから、ということもあるが、

- ① 卒業生の会員入会の選択制。② 支部役員の新返り。等に力点を置いている。

丁度よい機会なので現行の多賀工業会千葉県支部の会則を下記に掲載します。

皆様からもどしどし御意見をお寄せください。期待しております。

多賀工業会千葉県支部会則〔現行のもの〕

第 1 章 総 則

第1条 本会は多賀工業会千葉県支部と称し、その本部を支部長宅に置く。

第2条 本会は母校の隆昌及び会員相互の親睦と発展に寄与することを目的とする。

第 2 章 事 業

第3条 本会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会報及び会員名簿の発行 (2) 会員相互の連絡並びに共助共助
- (3) 会員と母校との連絡
- (4) その他、本会の目的達成のため必要と認める事項

第 3 章 会 員

第4条 本会の会員は多賀工業会の会員で千葉県に在住、在勤している者、並びに多賀多賀工業会々員の有志で幹事の推薦により支部長の承認した者とする。
なお、会員は住所または勤務地の変更を幹事長宛報告するものとする。

第 4 章 役 員

第5条 本会に次の役員を置く。

支部長	1名	幹事長	1名	監 事	若干名
副支部長	若干名	幹 事	若干名		
顧 問	若干名	工場連絡員	若干名		

第6条 役員は次の方法によって定める。

支部長は幹事の互選により、かつ、理事長の承認による。

幹事長、副支部長は幹事の互選による。

幹事及び工場連絡員、監事は会員の中から選出し、支部で決定する。

顧問は幹事会の推薦により、会員の推薦により支部長が委嘱する。

第7条 役員の仕事は次の通りである。

支部長は本会を代表する。

副支部長は支部長の仕事を補佐するとともに、支部長に事故あるときは、その仕事を代理する。

幹事は会務の運営にあたり、幹事長はその執行の責めに任ずる。

工場連絡員は本会と工場との連絡に任ずる。

監事は会計を監査する。

顧問は支部長の諮問に応ずる。

第8条 役員の任期は3年とする。ただし重任してもよい。

第 5 章 会 議

第9条 支部総会は原則として毎年6月に開催する。

ただし必要に応じ、臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は次の事項について審議し、出席者過半数の賛成を得たものを決議事項とする。

- (1) 幹事会の決議
- (2) 会の収支決算
- (3) 会則の改廃
- (4) その他、本会の目的達成のために必要な事項

第11条 幹事は幹事会を構成し、次の事項について審議、決定する。

- (1) 支部総会に提出する議案
- (2) 予算の編成及び実行計画
- (3) 会則の制度、改廃
- (4) その他、必要と認める事項

第12条 幹事会は会務運営上必要と認めた場合幹事長が召集する。

第 6 章 会 計

第13条 本会の経費は会費及び寄付金をもってこれにあてる。

第14条 会費は支部総会開催の都度実費相当額を納入する。

第15条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第16条 本会の収支は幹事が担当し、支部総会開催時に報告する。

第 7 章 分 会

第17条 分会を設けるときは、分解名簿を幹事長に提出するものとする。

第 8 章 付 則

第18条 本会則は、昭和50年2月23日から施行し、旧会則は同日廃止する。

2 第21回 多賀工業会千葉県支部総会 開催ご案内

日時 平成6年7月24日(日) 11:00—16:00

受付開始 10:30

場所 フローラ西船 (☎0474-35-2211)

会費 8,000円 (平成年度卒業生5,000円)

次第 総会 11:00—11:30

講演 11:30—13:00 講演者 地曳一夫氏 17金属

演題 親身になって話そう。相続・贈与税!

わからないと損することがある。わかれば得することもある。

家族・友人・知人、みんなできいて、お尋ねしましょう。

懇親会 13:15—15:00

交通 JR総武線・武蔵野線・京葉線 西船橋南口歩いて・260歩

京成 西船 徒歩 10分 [略図参照]

備考

① 出欠連絡 遅くとも7月17日 までをお願いします。

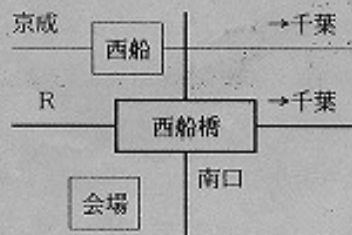
同封の用紙で。

② 連絡先(緊急のとき)

山田泰雄 ☎0474-85-0078

税所 祐 ☎0474-83-0605

三幣正人 ☎0473-24-1067



文責 三幣 正人